

# 千年の森便り No.262

2025.11.27

ちば千年の森をつくる会

<http://sfuku.cloudfree.jp/>

代表 福島成樹

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

11月16日(日) 天候 晴れ

久しぶりの青空、豊英島の森はコナラが黄葉して明るくなりました。駐車場から吊り橋を渡り島へ向かうと、足元にはポツポツときのこが目に入ります。豊英島の11月はコウタケの季節、今年は見ることができるのか!? わくわく(^^♪。結果はどうだったのか、詳しくは本文をご覧ください。

今回は、午前中にきのこ観察、午後はシカやイノシシに穴を開けられた植生保護柵の補修を行いました。

参加者は、秋元、伊藤、鶴沢、片野、坂本、竹下、福島会の会員7名、きのこの宝庫と呼ぶにふさわしい豊英島を堪能した一日でした。(福島)



## 〇きのこ3題

### アカモミタケ

吊り橋を渡る時、眼下に鴨の小群が通過して行ったので、その写真を撮っていて広場への到着が最後尾になりました。広場の手前まで来ると先着の誰かが「何だーこれは!」と大声を出すのが聞こえたので急いで行くと広場入口の左右にアカモミタケが重なり合うように生えていました。その数は一目100本以上の大発生ですから驚きの声上がるのも無理はありません。こんな光景は滅多に見られないので、記録写真を撮らなくてはと思うのですが、対象が多すぎて何処から写せば良いのか狙いが定まらず、うろうろするばかりでした。



各自の撮影が一段落してから発生量を把握するため、採集してテーブルの上に10個ずつのかたまりを作り数え易くしました。広場の周辺だけで124個、その後の作業で林内を歩くと追加があって最終的に210個になりました。きのこ観察をはじめて30年になりますが、これだけのアカモミタケ大発生は見た事がありません。この光景に一番驚き感動していたのは私だったようで、結局この記事を書くはめになりました。

### コウタケ

11月の千年の森の名物は巨大コウタケです。アカモミタケの大発生を見れば次に気に掛かるのはコウタケになります。当日しなければならぬ別の作業もありますが、「コウタケの事が気になって集中力を欠いては事故の元になります」と変な理屈を言って予定の前後を変更してもらいました。例年発生するホテイチク林の保護柵に近づくと、外からでも出ているのが見えたので良かったー! やったー! の気分でした。

今回の発生は8個、大きさにおいて過去の最大級に比べればやや小ぶりですが、それでも他所では滅多に見られないヘビー級でした。





## ナラタケ

朽ちかけたコナラの切り株にナラタケも大発生していました。ナラタケ自体はありふれた種で、発生期間も短期に集中しないの  
で見ることが多くなります。今回は島内の各所で図鑑の写真に  
したいような若くてピチピチの株が見られました。特に黄色味の強  
い株が多くてハニーマッシュルームの別名に納得できました。褐  
色の強いものは何がハニーだと文句を言いたくなります。しか  
し、従来は一種として扱われていたナラタケが最近の DNA 解析  
では 10 種近くに分かれるそうですから色の濃淡も種の違いに起  
因するかも知れません。ポリポリと言う地方名は茎を折り取る  
ときの音と感触に由来するもので、今回の採取体験した人はこの名付けセンスに共感できたでしょうか。（坂本）



## 〇野菊がとってもきれい！

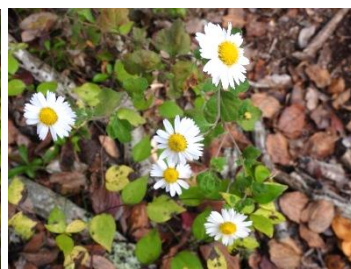
コナラ伐採地は野菊（キヨスミギク、リュウノウギク）とリンドウ、アキノキリンソウ、コウヤボウキの花で  
満たされていました。種を特定していない野菊という表現は親しみがありません。民子さんの悲しい物語が  
野菊により鮮やかに思い出されます。種を特定しない表現で民子さんへのイメージも膨らむような気がします。  
『野菊の墓』に登場する野菊は諸説あるようですが満 15 歳の無邪気で、はつらつとした少女を思い浮かべると  
白いリュウノウギク（民子）がお似合いのように思います。ここにはリンドウ（政夫）も咲いています。今年は  
紺（リンドウ）と白（野菊）のコントラストが素晴らしく眩しいくらいです。錦秋といってもいいような豊英島  
の気持ちのいい日差しの中に褐色となっても葉の落ちないヤマコウバシ、盛りが過ぎたヤマウルシ、ヤマハゼ、  
オオモミジやシモツケ、オケラも秋の装いに染まっていました。

コマユミとニシキギについてはいつも悩まされます。図鑑やネット情報を再確認したら翼の有るのがニシ  
キギ、無いのがコマユミとなっています。ただし、この件についてはちょっと複雑なようです。野生種よりも園  
芸種の方がきれいな翼が出るとか、太い枝のみに低い翼が出るとか出ないとか、境は不明瞭だと記載されていま  
した。ホテイ岬の岸边にあった個体は太い枝に低い翼があり、赤い実を付けていました。この個体はニシキギと  
しました。コナラ伐採地の個体には翼はありませんでしたのでコマユミとしました。

森のうす暗い場所にはシロダモが白い花と赤い実をつけていて、カンアオイは落ち葉に埋もれるように紫掛か  
ったツボ状の花を咲かせていました。（秋元）



キヨスミギク



リュウノウギク



リンドウ



アキノキリンソウ



コウヤボウキ



ヤマコウバシ



ヤマウルシ



オオモミジ





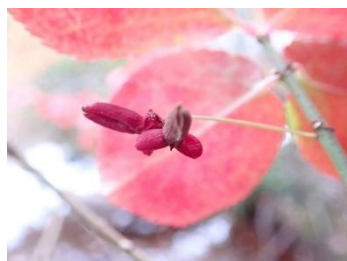
シモツケ



オケラ



コマユミ



ニシキギの実



シロダモの実



シロダモの花



カンアオイ



アオハダ

## ○植生保護柵の補修など

これまで継続的に植生保護柵を設置してきた成果が少しずつ表れ、島内の下層植生はゆっくりではありますが、確実に回復傾向にあります。とはいえ、先日の強風の影響か、各所で倒木や落枝によってネットが傷んでいる箇所が見られました。今回は、セブンイレブンの助成金のおかげで購入できた新しい資材を使い、破損した部分を中心に補修を進めました。破れたまま放置してしまうと、せっかく再生し始めた植生が再び食害を受けてしまいます。早めに手を入れることができたのは、本当に良かったと思います。

作業中、島内のあちこちでシカかキョンの比較的新しい糞も確認されました。落とし主が誰なのかは、センサーカメラの解析結果を待つことにしますが、少なくとも“通っている”ことは確かです。また、ネットが壊れるほどの落枝があるということは、まだ整備すべき場所が残っているということでもあり、引き続き注意が必要です。島内での作業は、足元だけでなく頭上からの危険もあります。「頭上ヨシ！」の声かけを徹底しながら、今後も安全第一で取り組んでいきたいと思っています。ところで次回、オレンジの服の先輩は来てくれるのでしょうか？ともあれ、ご安全に！（竹下）



既存の植生保護柵は、下部がシカやイノシシにより穴を開けられてしまうため、金属ネットを追加で設置して補修しました



落枝により破損した植生保護柵の補修、落枝の原因は穿孔性害虫（たぶんシロスジカミキリ）と思われます





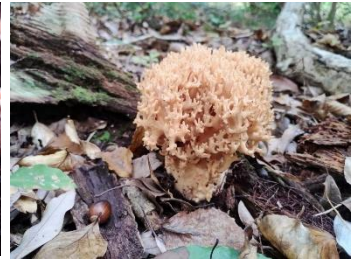
コウタケ



アカモミタケ



カノシタ



ホウキタケの仲間



ホシハジロ



エナガ



豊英湖の黄葉



枯死木の伐採（竹下さん）

○次回の定例活動は 12 月 7 日（日）です。

シカ調査、紅葉散策、危険木伐採、ロープワーク研修、コナラ伐採地の刈り払いを予定しています。

豊英島の美しい紅葉が見られると思います。

参加の際は、ダニ対策、ヘルメット着用を忘れずに。

**集合場所が、房総クロスヴィレッジに変更になりましたのでご注意ください。**

<https://maps.app.goo.gl/hFKVg4mXncQZJuyU6>

(35.218558228172604, 140.02542152712238)

以前の集合場所から豊英島方向に進み国道から左に入ったところです。

集合は 9:30 です。お間違いのないように！



房総クロスヴィレッジ（旧三島小学校）

\*12 月 1 日に生物多様性センターのヒメコマツ観察会の下見があります。

臨時活動として対応しますので、参加希望の方はお知らせください。

# セブン-イレブン記念財団

この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けて実施しています